

テレビや軍手で 労働者の魂を売りわたせるか！

8・8集会の
成功にむけて
シリーズ4

日刊 動労千葉

83. 7. 30

No. 1404

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八（動力車会館）
（鉄電二九三五）六（公衆）〇四七二（22）七二〇七

ハンドルの握って守りぬいた 五年間の底力の全てを8・8へ

動労千葉は、ハンドルを握りつつ、ジェット燃料貨車輸送阻止闘争を闘いぬいてきた。今、8・8パイプライン供用開始という新たな状況のなかで、81・3ジェットストライキを闘いぬいた決意と感動をしっかりと胸に刻み、三里塚闘争の勝利にむけてより一層の前進をかちとろうではありませんか。

81・3ストゆるがぬ確信

わが動労千葉は、三里塚ジェット燃料貨車輸送阻止をかね、一九八一年三月二日から六日までの五日間、組織をあげて三里塚政治ストライキに決起した。

「日刊動労千葉」にのった、その当時の感想文を紹介しよう。

「お前ら（『本部』革マル分子）は、テレビや軍手で労働者の魂を売り渡したんだぞ！」
「ストを闘いぬいた動労千葉の団結に、ほこりをもっている」

「経済闘争とちがって、すぐ結果がでないが組織が強くなった。これが最大の成果だ」
「生きがいを感じた。一人一人が生き生きとして明るくなった」

「侵略と戦争を阻止するたかいかいだ」

光りかがやく三里塚を闘う労働運動

動労千葉は、労働者の関心、労働組合の課題をただただ狭い自分たちの経済的利益だけに永遠につなぎとめないで、空港建設や、燃料輸送という「国策」に反対し、政治ストライキをうちぬいたのである。

「農地死守・実力闘争」をかかげ不屈に闘う三里塚農民に連帯し、その先にある、より大きな「国策」としての侵略と戦争に反対し、ストライキに起ちあがったのである。

わが動労千葉は、すべての闘う人民と共に政府支配階級の侵略と戦争の政策、反動攻撃経済攻撃とどこまでも徹底的に闘いぬいていくこと。この中にこそ、真の労働組合の進むべき道があることをさし示したのである。

三里塚闘争は全てをきりひらく

動労千葉がハンドルを握って五年有余に渡り血

と汗でたたかいたとった この労働者魂は、今ますます光り輝やいている。

三里塚闘争の勝利こそ、中曽根内閣の軍事大国化・憲法改悪、大増税、大合理化をうち破る道であることがあまりにはつきりしてきた。

三里塚闘争の勝利によってすべてがきりひかれるのだ。敗北は総屈服、暗黒である。

動労千葉の「三里塚を闘う労働運動」は、今国鉄労働者！全労働者の心をとらえるときをむかえているのである。

今、動労千葉のように闘わなければ無権利のなかにたたきこまれ、奴隷のようにはいつくばられ、殺されてしまうのだ。

動労「本部」革マルを 一掃し、全てを「8・8」へ

三里塚反対同盟と動労千葉の十八年の労農連帯の大前進においづめられた政府支配階級は、8・8パイプライン供用開始をテコに二期攻撃を強めている。動労「本部」革マルも、三里塚闘争破壊、動労千葉破壊を強めている。

三里塚闘争は、絶対勝利しなければならない。勝利できる。8・8闘争の大爆発をかちとり10・9へせめのぼろう。



全力あげて、8・8集会へ！
「三里塚二期着工阻止、パイプライン供用開始反対、反台、不当処分策動許すな！8・8集会に結集しよう！」7月21日以降、青年部は街頭宣伝に決起している。（千葉駅、津田沼駅、船橋駅にて）